

さまざまな版画表現

廣瀬理紗 宮本承司 山城有未 山本剛史

2019.5.25 sat. - 6.9 sun.

12:00 — 19:00 (lastday - 17:00) * mon. tues close

Opening Reception 5/25 (土) 17:00 - 19:00

宮本承司公開制作 5/25 (土) 15:00 - 17:00

5/26 (日) 12:30 - 14:30

作家コメント / 略歴 / 出品作品

さまざまな版画表現 II 展示作品リスト

No	作家名	作品タイトル	素材技法	制作年
1	廣瀬理紗	「通り過ぎる人生の匂い# 5」	木口木版 水性木版	2015
2	廣瀬理紗	「さながら～のように-椿-」	木口木版 花液手彩色	2018
3	廣瀬理紗	「テイストの振る舞い# 3」	木口木版	2019
4	廣瀬理紗	「Green curtain call」	木口木版	2019
5	廣瀬理紗	「Spring curtain call」	木口木版	2019
6	宮本承司	「鉄火髷」	和紙に水性木版	2019
7	宮本承司	「ポニーテールとスシ」	和紙に水性木版	2018
8	宮本承司	「humanity」	和紙に水性木版	2019
9	宮本承司	「金むす」	和紙に水性木版	2019
10	宮本承司	「金魚」	和紙に水性木版	2012
11	宮本承司	「水蜜桃」	和紙に水性木版	2012
12	宮本承司	「胃もたれ」	和紙に水性木版	2012
13	宮本承司	「おやすみ富士」	和紙に水性木版	2016
14	宮本承司	「うに」	和紙に水性木版	2012
15	山城有未	「塔からの使者」	メゾチント	2018
16	山城有未	「キリンです」	メゾチント	2011
17	山城有未	「frame」	メゾチント	2018
18	山城有未	「silent」	メゾチント	2013
19	山城有未	「探しもの」	メゾチント	2016
20	山城有未	「Instead」	メゾチント	2017
21	山城有未	「均衡を知る」	メゾチント	2015
22	山城有未	「この世界で」	メゾチント	2019
23	山城有未	「秩序」	メゾチント	2015
24	山本剛史	「CHAIR 2019 blue bench」	ポリエステルフィルム転写	2019
25	山本剛史	「CHAIR 2019 9 chairs」	ポリエステルフィルム転写	2019
26	山本剛史	「CHAIR 2019 bench model 谷保」	ポリエステルフィルム転写	2019
27	山本剛史	「CHAIR 2019 garden bench」	ポリエステルフィルム転写	2019
28	山本剛史	「CHAIR 2019 bench model 立川」	ポリエステルフィルム転写	2019
29	山本剛史	「CHAIR 2019 massage chair」	ポリエステルフィルム転写	2019
30	山本剛史	「CHAIR 2019 6 chairs」	ポリエステルフィルム転写	2019
31	山本剛史	「masu 2019」	雁皮紙にポリエステルフィルム転写	2019
32	山本剛史	「masu 2019」	雁皮紙にポリエステルフィルム転写	2019
33	山本剛史	「masu 2019」	雁皮紙にポリエステルフィルム転写	2019

【廣瀬 理紗 Risa HIROSE】



左「テイストの振る舞い#3」木口木版 38×28cm ed.9 2019

右「通り過ぎる人生の匂い#5」木口木版 水性木版 ed.6 22×22cm 2015

コメント

儚くも過ぎ去る時を見つめた作品づくりをテーマとし、季節の移ろいを通して見られる自然の機微や空気な湿度、香りで蘇る記憶を木口に刻み留め、そのときの存在を残していくことをしています。

版種の魅力（木口木版）

柘植のひんやりとした版木の年輪を触りながら、一本一本線を刻み、線が集積し、それが面になり、形となるプロセスが好きです。そして、凜とした佇まいの中にどこか柔らかさも感じられる、木口木版のもつ雰囲気の魅力を感じています。

今回の作品について

日々の出来事の中で拾い集めたパーツの記録です。

【廣瀬 理紗 略歴】

1983 岐阜生まれ
2009 東京造形大学 卒業
2011 東京造形大学 大学院修了

個展

2009 「第15回木版画大賞廣瀬理紗木口木版展」鹿沼市立川上澄生美術館
2012 「廣瀬理紗展」galleria grafica bis

グループ展

2006 「HHHAN」東京造形大学
2008 「HHHAN-DO」文房堂ギャラリー
「廣瀬理紗 丸山奈生二人展」月光荘こんぱる後室
「PRINT SHOW」東京造形大学
「第4回山本鼎版画大賞展」上田創造館
「第33回全国大学版画展」町田版画美術館
2009 「ZOKEI展」卒業制作展 東京造形大学
「五美術大学連合卒業修了制作展」国立新美術館
「Z NEWS」九美洞
「第15回鹿沼市立川上澄生美術館木版画大賞展」文化活動交流館ギャラリー
「PR7」東京造形大学ギャラリー
「日本・カナダ学生版画交換展」京都市立芸術大学大学会館ホール
「第3回大学版画受賞者展」文房堂ギャラリー
「第34回全国大学版画展」町田版画美術館
2010 「Handle」養清堂
「版画セレクション展」藤屋画廊
「日本版画協会第78回版画展」京都市美術館
「第4回大学版画受賞者展」文房堂ギャラリー
「9th Lessedra World Art Print Annual 2010」
「30th MINI PRINT INTERNATIONAL OF CADAQUES」
「第35回全国大学版画展」町田版画美術館
「あおもり国際版画トリエンナーレ2010」
2011 「第7回飛騨高山現代木版ビエンナーレ」
「等身対談展」愛知芸術文化センター12階アートスペース
「GHA Relay of 版画 Exhibition by 5 Women」
「第5回大学版画受賞者展」文房堂ギャラリー
「Visual contents」SAN AI GALLERY
「2009-14 54th-59th CWAJ PRINT SHOW」東京アメリカンクラブ
2012 「木口木版展」養清堂画廊
2013 「Small Works 2013」ガレリアグラフィカ bis
「『足りない活字のためのことば』展」馬喰町 ART+EAT
2015 「拝啓、生嶋先生」かわうそ画廊
「Small works 2015」ガレリアグラフィカ bis
「現代の美術作家展」みんなの森メディアコスモス
2016 「にほひみつ 川村沙耶佳 廣瀬理紗 木版画二人展」Gallery 惺 SATORU
「いきものの気配」川上澄生美術館1階展示ホール
「Small Works 2016」TSUTAYA 代官山
2017 「儂花」fei gallery
「蔵書票展」fei gallery
「Japanese printmakers」Davidson Galleries
2018 「CWAJ 現代版画展」
2019 「春つ方」Fukasaku Hideharu gallery roppongi

受賞歴

第4回山本鼎版画大賞展 入選
第15回鹿沼市立川上澄生美術館木版画大賞 大賞
78回日本版画協会展 入選
あおもり国際版画トリエンナーレ2010 入選
第33回、34回、35回全国大学版画展 收藏賞
第7回飛騨高山現代木版ビエンナーレ 奨励賞

收藏

東京造形大学図書館 浦和美術館 カリフォルニア大学サンタクルーズ校図書館
町田版画美術館 鹿沼市立川上澄生美術館

【宮本 承司 Shoji MIYAMOTO】



左：「鉄火髷」和紙に水性木版 21×21cm ed.11 2019

右：「金むす」和紙に水性木版 24×20cm ed.8 2019

コメント

日常で当たり前に見過ごしている面白さを発見しながら制作しています。
楽しんで作ったものを、楽しんで見ていただければ最高です。

版種の魅力（水性木版）

版画は、版という作者とは別の存在が作品を生み出すのが特徴だと思うのですが、
木版はとくに元々生きていた木という版を使うので、充実感と軽快さが共存した風
合いを作るのに向いています。

刷るときの水加減や力加減などの僅かな違いで大きく異なる結果が生まれ、予想を
裏切るものが出来上がることが面白いです。

今回の作品について

いつも通り、生活しているなかで気付いたこと、引っかかったことを版画にしてい
ます。

【宮本 承司 略歴】

1988 大阪生まれ

2010 大阪芸術大学芸術学部美術学科版画コース 卒業

個展

2011 「木版画展」 Gallery Jin Esprit+ / 東京 (2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2018)

2014 「木版画展」アートゾーン神楽岡 / 京都 (2017)

賞歴

2015 「CWAJ現代版画展 60周年記念大賞展」 奨励賞 東京アメリカンクラブ / 神戸倶楽部

2010 「京展」 館長奨励賞 京都市美術館

2009 「全国大学版画展」 観客賞 町田市立国際版画美術館

「全国大学版画展」 収蔵賞 町田市立国際版画美術館

2008 「全国大学版画展」 観客賞 町田市立国際版画美術館

主なグループ展

2018 「一期一圓」ギャラリーモーニング, 京都

2018 「宮本承司×三好愛「もくろみ日和」」art gallery MORITAKA / 東京

2017 「宮本承司×常信明子「夏の思い出」」 Gallery Jin Esprit+ / 東京

2016 「版画旅行9」ギャラリーモーニング / 京都

2014 「木版市」恵文社一乗寺店 / 京都

2013 「TAMAVIVANT」多摩美術大学 / 東京

2012 「Redefining the Multiple」Ewing Gallery他 / アメリカ

2011 「版画にこだわる VII -woodcut-」番画廊 / 大阪

2010 「選選展」0ギャラリー / 東京

2010 「New Faces from Printmaking」石田大成社ホール / 京都

【山城 有未 Ami YAMASHIRO】



「この世界で」
メゾチント
15.7×9.5cm
ed.20
2019

コメント

「在りえないとも言えない嘘」をテーマに制作。

少し不気味で少し懐かしい、子供の頃に見た夢のような、辻褄が合うようで合わない世界を描きたい。

版種の魅力(メゾチント)

黒の技法とも呼ばれる、銅版画でもちょっと特殊なメゾチント。

制作時間を非常に要しますが、その分画面も空気も重厚になる感じが好きです。暗闇に漂う、カタチがあるような無いな、空気のような気持ちのような何かを、見る人に感じ取ってもらえると嬉しいです。

【山城 有未 略歴】

1987 福岡県田川市に生まれる
2006 八幡中央高校芸術コース卒業
2011 東京造形大学絵画科版画卒業
2013 東京藝術大学大学院 版画第一研究室 修了
現在 銅版画家として活動中

展示

- 2009 「Hando x hando」グループ展(文房堂ギャラリー/神保町)
「PRINT SHOW」グループ展(東京造形大学ギャラリー/八王子)
- 2010 「STARTING PRINT」グループ展(GALLERY K/六本木)
「版十六景」東京造形大学4年版画専攻グループ展(文房堂ギャラリー/神保町)
「camaboco 展」(東京造形大学旧絵画棟/八王子)
- 2011 「卒業制作展」(東京造形大学/八王子)
「版の造形 Z-News」4人展(Gallery Lara Tokyo/六本木)
「~Under the fantasy~」4人展(デザインフェスタギャラリー/原宿)
「第79回日本版画協会展」入選(東京都美術館/上野)
「POSTCARD communication 展」(六本木版画倶楽部/六本木)
「版画集展 2011」(東京藝術大学版画廊/上野)
「GTS 隅田川新名所物語 2011」(隅田川リバーサイドギャラリー/浅草)
「俵賞展」(東京藝術大学版画廊/上野)
「第36回 全国大学版画展」(町田市立国際版画美術館/町田)
「Present」個展(ギャラリーパレアナ/神楽坂)
- 2012 「山城有未展」個展(ギャラリー銀座フォレスト/銀座)
「東京藝術大学版画研究室展」(INOAC 並木通りギャラリー/銀座)
「サマーフェスタ 2012」(ギャラリー枝香庵/銀座)
「第80回 版画展」(東京都美術館/上野)
「箕輪千絵子 & 山城有未 銅版画二人展」(乙画廊/大阪)
「枝香庵のクリスマス」(ギャラリー枝香庵/銀座)
- 2013 「修了展示」(東京芸術大学美術館 3F/上野)
「ファンタジックアート展」(DORADO GALLERY/早稲田) 個展
「有り得ないとも言えない嘘。」個展(ギャラリーパレアナ/神楽坂)
「ファンタジックアート展」(DORADO GALLERY/早稲田)
「物語の主人公展」(ギャラリー枝香庵/銀座)
「山本冬彦が選ぶ若手作家小品展 2」(ギャラリー枝香庵/銀座)
「サマーフェスタ 2013」(ギャラリー枝香庵/銀座)
「Black&White 展」(DORADO GALLERY/早稲田)
「若くて綺麗な作家展 パート 1」(乙画廊/大阪)
「たいせつなもの展」(靖山画廊/銀座)
「枝香庵のクリスマス」(ギャラリー枝香庵/銀座)
- 2014 「王道か。異端か。」3人展(養清堂画廊/銀座)
「部屋の絵」展(DORADO GALLERY/早稲田)
「三越美術特選会 『始点×視点』若き創始者たち」(三越本店/日本橋)
「LIONCEAUX PLUS ~華咲け現代洋画の俊英たち Vol.4~」(三越本店/日本橋)
「山城有未 個展」(靖山画廊/銀座)
「装幀画展 II~文学とアートの出会い~」(パレットギャラリー/麻布十番)
「たいせつなもの展」(靖山画廊/銀座)
- 2015 「アトリエ展」(ギャラリーアビアント/浅草)
「美しい死体」展(珈琲喫茶 Zaroff/初台)
「LIONCEAUX PLUS ~華咲け現代洋画の俊英たち Vol.5~」(三越本店/日本橋)
「まちゅまゆ・山城有未 ~ふたりの子守唄~」(DORADO GALLERY/早稲田)
「アートがあるから楽しい デコ 装飾?DECO!」(三越本店/日本橋)
- 2016 「猫の中の猫-特別企画-展」(乙画廊/大阪)
「時の謎」展(ギャラリーロイユ/神戸)
「枝香庵 10周年記念展」(ギャラリー枝香庵/銀座)
「小林美佐子 x 山城有未 二人展」(珈琲喫茶 Zaroff/初台)
- 2017 「私の、意中の画家」展(ギャラリー枝香庵/銀座)
「Fantastic Art Exhibition (空想画展)」(DORADO GALLERY/早稲田)
「Xmas&はじめ展」(ギャラリー枝香庵/銀座)
- 2018 「アーティストの反骨精神「沸点」の現象」(田川市美術館/福岡県)
「物語の中の主人公達 4」展(ギャラリー枝香庵/銀座)
「名作オマージュ展」(DORADO GALLERY/早稲田)
「サマーフェスタ 2018」(ギャラリー枝香庵/銀座)
「QUARTET - カルテット - 」日本画・洋画・彫刻・版画(東武百貨店船橋店/千葉)
「Little Christmas - 小さな版画展 2018」(全国 34カ所の画廊・美術館)
「さまざまな版画表現 II」(Gallery 惺 SATORU/吉祥寺)

【山本 剛史 Takeshi YAMAMOTO】



「CHAIR 2019 bench model 谷保」
ポリエステルフィルム転写
紙：ファブリアーノ ロサスピーナ
210×297 mm
ed.20

コメント

「人の手で創られたものたちにどうしてだか強くひきつけられる」幼い頃より私を貫いています。おりおり出会う森羅万象の凄みに心は揺れるのですが、ふと気づくとモチーフに選んでいるのは、椅子を含めて人が作った、機能的で、謙虚なようで、切ない存在感を帯びているものたちに収斂していきます。

人の気配に近寄りたくもあり、そのくせ離れても居たい、という私の性分は版表現とは相性が良いらしい、それらのモチーフが版を介して写しとり、その工程の中で別のイメージに変換して行く。そういった行為を繰り返し、作品を創り続けて来ました。

しかしながら版画制作は融通が利かないこともあり、刷り作業でしくじったりしてはまた心震わせ、繰り返されるわずかな違和感から新たな ひらめき が生まれることもある。それを追って前に進んでいるようです。

そこに「椅子」と呼ばれるものがある。

それは誰かの為のものなのか？それとも今や使われなくて放置された何ものなのか？

事情は図りがたく気配だけがたたずんでいます。

生身の人間は不在なのに、立ち込める気配はなまなましく 写し取る 行為は自由と不自由を思い知らせます。

たとえばバス停で見かける看板つきベンチ、小さな店頭で置かれたスツール、気づくとふと見入っている私に何が写し取られてゆくのか、それらは若干のユーモアを交えてこちらを見ているようです。

版種の魅力（フィルム転写）

製版の段階ではきっちりと画面と対峙して自ら構築していくことが大切であるが、最後の最後はどこかで自ら手放し、版に委ねていくところが避けられません。

そこにはあたかも同じ絵を何枚も描いていくようであり、偶然性の中から画像が現れる魅力がいつも感じられるのです。

今回の作品について

日々出会う風景のなかで、椅子やベンチを様々な形式で記録に留めている。

それらを私の中で『版』に向かわせ察変させて、新たな物語を纏って出現させたいと思います。

【山本 剛史 略歴】

1967 静岡県生まれ
1991 創形美術学校版画科卒業

【個展】

2010,2011,2013,2015,2017 (銀座/O ギャラリーUP・S)
2013 (国立/WATERMAKE arts and crafts)
2014 (名古屋/ギャラリー A・C・S)
2014 (埼玉/ギャラリー恵風)
2015 (調布/gallery みるめ)
2015 (安曇野/ギャラリー留歩)
2015 (埼玉/わたなべ画廊)
2016,2017 (日本橋/JINEN GALLERY)
2017 (長野/アンフォンメル中川村美術館)
2017 (佐賀/画廊憩い)
2018 (川越/ギャラリーユニコン)
2018 (調布/gallery みるめ)
2018 (大阪/ギャラリー プチボア)
2018 (日本橋/JINEN GALLERY)

【グループ展】

2012,2014 「IMAGINE FUKUSHIMA 展」(国立/コートギャラリー国立)
2013,2014,2015,2016,2017,2018 「ホロニック展 個と全体の調和を図る」(川越/ギャラリーユニコン)
2014,2015,2016,2017,2018 「LITTLE CHRISTMAS ちいさな版画展」(全国各画廊、美術館にて)
2017 「玉手箱のある絵画展」(小豆島/MeiPAM)
2018 「初夏のうた」(長崎/ギャラリー エム)
2019 「CORVUS 2019」(名古屋/GALLERY MARQUISE)
2019 「さまざまな版画表現 II」(吉祥寺/Gallery 惺 SATORU)

【コンペティション】

1992,1995,1998~2010,2017 「CWAJ 現代版画展」(麻布/アメリカンクラブ)

【パブリックコレクション】

ロサンゼルス・カウンティ美術館, 米国議会図書館 上海半島美術館

1967年静岡県生まれ。創形美術学校版画科卒業。銅版画技法を学ぶ。

'92年より、銅版と木版を併用した作品を中心に発表。

主に『建築』『椅子』をモチーフにし、空間と「もの」のたたずむ相を切り取る作品を展開、近年では転写法を用いた平面作品や、平面にとどまらないオブジェ作品を制作、表現方法を広げている。

東京、埼玉、神奈川、長野、名古屋などで個展発表。日本各県のギャラリーを巡回する版画のグループイベントにも取り組んでいる。海外発表はドイツ、イギリス、上海など。

Gallery 榎 SATORU

180-0005 東京都武蔵野市御殿山 1-2-6-B1F

HP <http://galleriesatoru.com>

facebook <http://www.facebook.com/galleriesatoru>